

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 15-005

PDCA	事務事業名	福祉センター管理運営事業	部課等名	福祉部 地域福祉課 地域福祉担当	担当	黒野隼		
					内線等	347		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち						
		節： 第2節 地域福祉の推進						
		基本施策： 2. 高齢者福祉						
		単位施策： (2) 高齢者生きがいがいつくりの推進						
	根拠法令等	半田市身体障がい者福祉センター条例、半田市老人福祉センター条例、半田市ひとり親家庭福祉センター条例						
	対象・目的	センターの管理運営を通じ、高齢者・障がい者・母子寡婦等の社会参加、福祉増進等に寄与する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	身体障がい者福祉センター・老人福祉センター・ひとり親家庭福祉センターの管理運営を半田市社会福祉協議会に委託し、各種イベント等を実施することにより施設利用を促進して地域福祉の増進を図る。また、利用者が安心安全に施設を利用できるよう、施設・設備の適切管理、環境整備等に取り組む。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①福祉センターの開館日数		333	306	294	日	
		②福祉センター主催のイベント回数		2	1	0	回	
		③福祉センター利用団体利用回数		1,956	1,793	996	件	
		事業費		4,860	8,222	4,459	千円	
		人件費		937	932	1,852	千円	
		総事業費		5,797	9,154	6,311	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①開館1日あたりのコスト		17	30	21	千円		
	②							
	③							
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①年間延べ利用者数	実績値	70,565	62,338	27,919	人	
			目標値	78,000	78,000	71,000		
②		実績値						
		目標値						
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	事業の評価・課題	C						
		新型コロナウイルス感染症の影響により4月から5月中旬まで閉館となり、利用者数は大きく減少したが、利用者に対する感染予防の周知・啓蒙を進めながら、感染予防と施設の利用促進の両立を目指して地域福祉の増進に取り組んだ。また、老朽化した教養娯楽室（和室）の壁面を補修し、利用者が心地よく利用できる環境整備に取り組んだ。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
			新型コロナウイルス感染対策等を適切に行い、利用者が安心安全に利用できる施設運営に取り組む。さらに、施設・設備の老朽化を考慮し、定期点検だけでなく日常点検を着実にし、不具合箇所等があれば適時適切に対応する。					
		令和3年度の目標	成果指標		目標値		単位	
			年間延べ利用者数		30,000		人	